

病虫害発生予察特殊報 第2号

作 物 名：チャ
害 虫 名：チャトゲコナジラミ
学 名：*Aleurocanthus camelliae* Kanmiya & Kasai

1 発生確認経過

平成24年9月14日に、飯田市南信濃の茶園からコナジラミ類の幼虫・成虫を採集し、独立行政法人野菜茶業研究所・金谷支場に同定を依頼したところ、長野県で未発生のチャトゲコナジラミ (*Aleurocanthus camelliae* Kanmiya & Kasai) であると確認された。そこで県内の生産茶園を主に発生分布調査をしたところ、その他にも数園で発生を確認した(表1)。

本種は、平成16年に京都府のチャで初確認されて以来、すでに近隣の岐阜県・愛知県・静岡県などを含め1都1府21県で特殊報が発表されている。なお本種は、ミカントゲコナジラミのチャ系統として発生及び被害が報告されたが、平成23年3月に新種として命名記載された。

2 形 態

- (1)成虫の体長は、雌が約1.3mm、雄は約1mmである。前翅は紫褐色で9つの不整形の白斑があり、虫体は橙黄色であるが白粉で覆われているため灰色に見える(図1)。
- (2)孵化幼虫は淡黄色で、2齢から4齢幼虫は光沢のある黒色で周囲に白色口ウ物質があり、周囲と背面に多数の刺毛を有する。4齢幼虫の体長は、約1mmである(図2)。
- (3)卵は淡黄色で、長さ約0.2mmである。

3 生 態

- (1)日本のチャ園では、おおむね年3世代ないし4世代を経過する。ふ化後、1齢から4齢幼虫を経て成虫となる。越冬は幼虫態(3・4齢)で行われ、卵や若齢幼虫は寒さのため越冬できないとされている。翌春における成虫の発生は、一番茶新芽生育期とほぼ一致する。
- (2)幼虫は、下位葉の葉裏に寄生し、ふ化直後は歩行移動するが、定着後は移動しない。
- (3)成虫は新芽に群生し、チャ株を揺らすと飛び立ち、摘採面上やうね間を飛び廻る。成虫の寿命は約2~4日間で、羽化後すぐに交尾し、葉裏に産卵する。
- (4)チャの他に、サカキ・ヒサカキ・ヤブツバキ・サザンカ・シキミなどのツバキ科の植物にも寄生する。

4 被害の特徴

成虫は、新芽に群生して吸汁する。また、幼虫は、下位葉の葉裏に生息して吸汁加害し、幼虫が排泄する甘露により“すす症(図3)”を生ずる。初発生確認後、圃場での発生が急激に拡大する。

5 防除対策

- (1) 県内では、今のところ発生園と未発生園があり、多発生園は見られない。発生があった場合には、発生状況に応じた以下の対策を講ずることが重要である。
- (2) 成虫は新芽に、幼虫は下位葉に集まるので、定期的に観察するか、黄色粘着トラップ(図5)を利用して早期発見に努める。
- (3) 防除適期は、成虫の発生が少なくなる世代の若齢幼虫発生期である。黄色粘着トラップや捕虫網による新芽のすくい取りによる成虫のモニタリングや、下位葉における幼虫の発生状況の観察により、適期防除に努める。
- (4) 幼虫は下位葉の裏側に寄生しているので、まず薬剤がかかりやすくなるように、散布前にすそ刈りを行う。散布の際は、すそ部からチャ株頂上部へ向けて、斜め上方に薬液を散布する。
- (5) 深刈り剪定等により枝葉を除去することで、生息密度低下や防除効果の向上を図ることができる。なお、剪定した枝葉は発生源となるため、土中に埋設するなど適切に処分する。
- (6) 秋冬期は、9月下旬から10月に農薬で越冬量を減らした上で、翌年の1～2月頃に老齢幼虫に有効なマシン油乳剤による防除を行う。
- (7) 苗の導入時には、苗木の防除を徹底する。
- (8) 今までの他県の事例では、数年すると天敵類(シルベストリコバチ:図4など)の寄生率の上昇により密度が低下するので、侵入初期2～3年の防除が重要である。



表1 チャトゲコナジラミ発生確認地点数

調査地区	発生確認地点数
飯田市上村	1 / 2
飯田市南信濃	5 / 6
天龍村	0 / 3
阿南町	1 / 3
泰阜村	1 / 1
木曾町三岳	0 / 1
南木曾町	3 / 3
計	11 / 19

注) 分母は調査地点数



図1 新芽に群がる成虫

- (9) その他: 農林水産省のチャトゲコナジラミを対象とした「新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業」の成果として、『チャの新害虫チャトゲコナジラミの防除マニュアル』が、農林水産省のホームページに掲載されている。

農林水産省HP: <http://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/siryoku2/index.html>



図2 下葉裏の幼虫・蛹



図3 すず症



図4 シルベストリコバチ(天敵寄生蜂)

注) 以上の図1～4は、山下氏(京都府山城北農業改良普及センター)の提供による。



図5 茶畦に設置した黄色粘着トラップと捕獲した成虫

長野県病害虫防除所(中南信担当)
担当: 平井 尚之(所長)・南島 誠(担当)
TEL: 0263-53-5642(直通) FAX: 0263-54-4503
E-mail: bojo-y@pref.nagano.lg.jp